

社会福祉法人 恩賜財団 済生会松山病院

開設年 ●昭和39年
 開設者 ●社会福祉法人 愛媛県済生会
 支部長 岡田 武志
 院長 ●宮岡 弘明
 病床数 ●一般 199床
 医師数 ●50名(研修医含む)
 研修医数 ●9名(初期研修医5名、専攻医4名)
 臨床研修指導医数 ●28名
 患者数 ●外来 530名/日 入院 156名/日
 平均在院日数 ●13.9日
 病床稼働率 ●78.4%
 年間救急車受入数 ●2,983台

標榜科

◆内科◆循環器内科◆脳神経内科◆外科◆整形外科◆脳神経外科
 ◆麻酔科◆放射線科◆眼科◆婦人科◆泌尿器科◆皮膚科◆形成外科
 ◆リハビリテーション科



当院はNPO法人卒業
 臨床研修評価機構の
 評価を受けた認定病院です。

〒791-8026
 愛媛県松山市山西町880番地2
 TEL 089-951-6111 FAX 089-953-3806

<https://www.saimatsu-jr-resident.jp/>

研修責任者からのメッセージ

副院長・プログラム責任者
村上 英広
 愛媛大学卒 内科

済生会松山病院は、プライマリケアと救急医療に特に力を入れています。単独で松山地区の輪番制救急を担当していますので、初期研修1年目から積極的にファーストタッチしていただくことで救急医療を十分研修できる体制が整っています。また、各種勉強会やセミナー、済生丸による離島健診など充実した研修が行えるよう病院全体で取り組んでいます。ぜひ一度見学に来てください。



研修医は指導医とペアで救急1stタッチ

プログラムの目的と特徴

目的

当院の理念「済生会精神に基づき地域の医療・保健・福祉の充実」の下、社会人としての規律を守り医師として思いやりのある人格をかん養し、将来の専門性にかかわらず医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ、日常診療で頻りに遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアを中心に幅広く医師として必要な診療能力を身に付ける。

特徴

- 豊富な症例
 地域に密着した中規模病院の特殊性を活かし、日常頻りに遭遇する病気に適切に対応する基本的臨床能力を身につけることができるよう、1次から2次救急まで地域の救急医療、急性期疾患及び終末期医療まで広範囲に渡った豊富な症例を経験できます。
- 多くの救急疾患を経験
 当院は松山医療圏の2次救急を8日毎の輪番制により単独で担っているため、初期臨床研修に必要な多くの救急疾患を経験することができ、2年間を通して一貫した細かな指導が受けられます。特に救急部門研修では、救急医療で遭遇する可能性の高い整形外科疾患、脳神経外科疾患を一定期間集中的に研修します。
- セミナーや勉強会が充実
 愛媛県内の済生会病院と共同で研修医と指導医のレベルアップを目的に年2回「愛媛済生会病院研修医育成セミナー」を開催。研修医の症例呈示による症例検討会の後、全国的に有名な指導医による講演を行っています。また、毎年1月には総合診療で有名な山中克郎先生(現福島県立医科大学会津医療センター 研修教育センター長/総合内科学講座教授)を講師にお招きし、院内で教育カンファレンス、教育回診、教育講演を行うなど、研修医の教育に力を入れています。

研修スケジュール

1年次	2週	24週				12週	4週	10週
	ホリデー	内科(循環器内科含む)				救急部門	外科	自由選択
当院								
2年次	4週	4週	4週	4週	4週	32週		
	自由選択	地域医療	精神科	小児科	産婦人科	自由選択		
当院		外部医療機関				当院又は外部医療機関		当院

必修分野

内科	24週	精神科	4週*3
外科	4週	救急部門	12週*4
小児科	4週*1	地域医療	4週*5
産婦人科	4週*2		

その他の分野及び選択研修など

甲状腺内科⁶、救命救急⁷、がん医療⁸、その他⁹

- *1 小児科 「松山市民病院」「松山赤十字病院」「済生会今治病院」「愛媛大学医学部附属病院」
- *2 産婦人科 「松山赤十字病院」「愛媛大学医学部附属病院」
- *3 精神科 「久米病院」「松山記念病院」
- *4 救急部門 「麻酔科4週+整形外科4週+脳神経外科4週」
- *5 地域医療 「種子島医療センター」「若手済生会会泉病院」「久万高原町立病院」「西予市立野村病院」「済生会小田診療所」「済生会(老健)にぎたつ苑」
- *6 甲状腺内科 「野口病院(大分県別府市)」
- *7 救命救急 「大阪府済生会千里病院 千里救命救急センター」
- *8 がん医療 「四国がんセンター」
- *9 その他 「当院」「愛媛大学医学部附属病院」「済生会今治病院」「済生会西条病院」から希望の診療科を選択

研修医からのメッセージ

2年目研修医
稲垣 遼
 愛媛大学卒

僕がここでの研修を選んだ一番の理由は、メリハリのある研修ができると思ったからです。実際、救急日には救急車への初期対応をたくさん学べますが、普段の診療では時間にゆとりも多く、自分の勉強にあてることもできます！また大きな病院ではないからこそ様々な手技を自分主体でさせてもらえることも多いです。自由度も高く自分のしたい研修をさせてもらえる病院だと感じています！



令和4年度の1年目研修医 症例を豊富に経験できるのも少人数ならではの



巡回診療船「済生丸」による離島健診 離島健診は研修医が主体となって問診、診察、健康指導などを行います

募集要項

予定定員	6名(予定)
応募締切	①令和4年7月27日(水)、②8月10日(水)、③8月26日(金)
選考試験	①令和4年8月4日(木)、②8月18日(木)、③9月3日(土)面接、小論文により選考
応募書類	履歴書(写真貼付)、卒業(見込み)証明書、成績証明書、臨床研修申込書(指定の様式を当院HPよりダウンロード)
研修手当	1年次 月額39万円、2年次 月額40万円 諸手当は別途支給 (時間外手当、救急当直手当、通勤手当、住宅手当 他) 年間支給総額: 約700万円(令和3年度実績より)
宿舎	なし(最大57,000円/月まで住宅手当で補助あり)
学会等	規程により参加費・旅費の支給あり
その他	【勤務時間】月~金 8:30~17:00 ± 8:30~12:30 【休暇】日・祝日、第2, 4, 5土曜日休業 有給休暇 1年目10日・2年目11日、特別(慶弔)休暇、夏休3日、盆休8/16、地方祭10/7、年末年始12/29~1/3 【院内保育所】敷地内に院内保育所あり

連絡先

担当者 ● 臨床研修センター事務局 北川、長谷川
 〒791-8026
 愛媛県松山市山西町880番地2
 TEL 089-951-6111
 FAX 089-953-3806
 MAIL rinskyokensyu@matsuyama.saiseikai.or.jp



【電車】伊予鉄山西駅より徒歩7分
 【車】JR松山駅より約15分
 松山空港より約15分
 松山観光港より約15分